

2010全国学校事務研究集会 要項

岐阜（馬籠）集会

語り合おう子どもの未来！ 育てよう民主教育！ つくりだそう私たちの学校事務！！

全国の事務職員のみなさん

私たちが要求してきた公立高校授業料実質無償化は実施されましたが、私立高校の授業料無償化の課題はまだ残っています。要求を組織化し運動としてとりくんできたことが、少しずつ実現できていることを感じます。政権が交代しましたが、不透明・不確実な要素は相変わらず多くあります。今の厳しい経済状況の中「格差と貧困」はますます拡大し、子どもたちや教職員ともに厳しい状況におかれています。

今年も、授業料滞納により卒業式に参加できない高校生のことが話題となりました。教育は「受益者（受益者って誰だろう）負担」という声が聞こえてきます。就学援助制度改悪、高校・大学を卒業しても、奨学金が数百万円のローンとして重くのしかかる現実。授業料・学校徴収金（預り金）の滞納者の増大、就学援助認定者の増加など、まさに格差と貧困の広がりが子どもたちを苦しめています。

全教事務職員部は、この夏の7月31日（土）から8月2日（月）までの3日間、岐阜県中津川市で、全国事務研究集会2010岐阜（馬籠）集会を開催します。1990年、和歌山県紀見荘で全教事務研プレ集会を開催して以来、「学校づくり」、「子どもの就学保障」、「事務職員の任務」などの学習や交流を深めると同時に、学校で働く仲間の労働条件などの要求も大切にしながら実践やとりくみをすすめてきました。特にこの間の実態を交流・学習してくるなかで、貧困と教育格差の中で子どもたちの学習権を守るとりくみや、真に無償教育をめざすとりくみを前進させてきました。また、国や自治体が教育政策として押しつけてくる教育改悪、財政を理由にした公務員攻撃などに反対するたたかいなどを含め、民主的学校づくりや事務職員の任務確立の運動を発展させてきました。20年の運動の歴史と研究の成果を振り返り、これからの事務職員、学校についてじっくりと語り合いましょう！！

全国の事務職員の皆さん！この集会は日頃の思いや悩みを交流し、学習と実践の交流を深め、運動に結びつける絶好の機会です。すべての子どもが安心して学習できるように学習権を保障し、ゆきとどいた教育をすすめるために、多いに学習・交流を深めて行きましょう。

多くのみなさんの参加を呼びかけます。

2010年5月17日
全日本教職員組合事務職員部常任委員会
同学校事務研究集会推進委員会

岐阜(馬籠)集会

日時 2010年7月31日(土)～8月2日(月)

宿泊先 ホテル中津川温泉『花更紗』

H P <http://www.nakatsugawaonsen.com/sarasa/index.html>

電話 0573-69-5111

住所 岐阜県中津川市神坂280番地

会場 中津川市馬籠ふるさと学校

月 日	スケジュール(予定)	内 容
7/31(土)	13:30～14:00	受付
	14:00～14:30	開会集会
	15:00～17:00	馬籠歴史探訪
	18:00～20:00	夕食交流会
月 日	スケジュール(予定)	内 容
8/1(日)	8:30～9:00	受付
	9:00～16:30	分科会
	18:00～20:00	夕食(自主交流会)
月 日	スケジュール(予定)	内 容
8/2(月)	8:30～9:00	受付
	9:00～10:00	講座A
	10:00～11:20	講座B
	11:30～12:00	閉会集会

特別分科会 「わかものによる若者分科会」

この分科会は、若い事務職員の人だけで仕事のこと、悩みなど自由に交流する分科会です。企画やすすめ方などすべて若い人の計画で運営します。

特別分科会 「事務職員部運動をふりかえり未来を語る分科会」

全教結成20周年を記念し、事務職員部運動の歴史や教訓をふりかえり、今後の展望と期待を自由闊達に話し合います。

第1分科会 「学校づくりと事務職員の役割」

この分科会では、ゆきとどいた教育と子どもたちを主人公にした学校づくりをすすめるために、学校事務職員が果たす役割や任務、学校で働くことの意義、地域・保護者との共同のとりくみ、また開かれた学校づくりをすすめるため各地の交流を深め、討議をする分科会です。

討議の柱

民主的な学校づくりをすすめる上での学校事務職員の役割や任務
ゆきとどいた教育をすすめるための地域・保護者との共同のとりくみ
子どもが安心して学べ、子どもの要求を実現するための実践交流
開かれた学校づくりをすすめるためのとりくみ

レポートのキーワード

- 民主的な学校づくりと学校事務職員の役割
- 児童生徒とのかかわり
- 教育改革と開かれた学校づくり

第2分科会 「子どもの学習権を守るための私たちのとりくみ」

この分科会では、身近な職場の実践や悩みを出し合いながら「教育費無償」を掲げて子どもたちの未来をどう保障するのか、財政面を中心課題に学校予算・学校徴収金・保護者負担の問題について、交流し討議を進めます。

討議の柱

子ども・保護者の願いを实践するためにどのように学校財政に関わっていくか
学校財政の民主的運営でどのように学習権をまもっていくのか
貧困格差の中で子どもの学習権を守るとりくみ

レポートのキーワード

学校徴収金問題
学校財政の民主的とりくみ(予算委員会・施設設備)
父母負担の実態や軽減のとりくみ

第3分科会 「ゆきとどいた教育をめざす自治体へのとりくみ」

この分科会では、「教育費無償」の基本的理念にたち、子どもの学習権、就・修学権を保障するための、就学援助制度・奨学金制度・教育扶助制度等の拡充に向けた自治体要請や予算獲得運動のとりくみ、ゆきとどいた教育を実現するための多様な実践を交流し討議をすすめます。

討議の柱

自治体財政の悪化にともない、就学援助制度・授業料等減免制度・奨学金制度・教育扶助制度等はどのように変化(改悪)しているのか、実態を明らかにし制度拡充の論議を深める。
教育予算の削減・自治体合併などによる子どもへの支援水準の低下にどう立ち向かうのか(自治体闘争・予算獲得運動等)論議を深める。
高校授業料無償の状況や教育費等無償化へ向けた運動のとりくみ等、実践について交流・論議を深める。

レポートのキーワード

構造改革と教育予算 : 「市町村合併に伴う教育条件の変化」
「就学援助制度」「教育扶助制度」「あめとムチの予算」「学校統廃合」
自治体闘争と予算獲得 : 「奨学金制度の拡充」「教育予算増額の運動」

第4分科会 「労働条件、権利を守り、安心して働きつづけるために」

この分科会では、職場の労働条件や任用の実態、賃金・人事評価（考課）制度の実態などを交流し、事務の共同実施や教育事務所の廃止、「総務サービスセンター」による集中化・IT化の弊害などを論議します。

また、安心して働ける職場づくりや組織拡大などについて、職場や地域でのとりくみを交流します。

討議の柱

労働条件の実態や公務員制度改悪による影響と課題

- ・賃金・定数・権利・労働条件・労働環境・人事任用制度などの実態を交流する。
- ・各県の共通課題、義務制と高校・障害児学校の共通する課題を交流する。

いきいきとした組合活動をすすめるために

- ・職場や地域など、いきいきとした組合活動の広がりや運動の成果と教訓を交流する。また、共同のひろがりや到達点や教訓を話し合う。
- ・職場活動・組織拡大などのとりくみを交流する。

レポートのキーワード

賃金制度：「評価賃金」「格付け」

評価制度：「人事評価（考課）制度」

労働条件：「共同実施」「総務事務（サービス）センター」「IT化」「勤務時間」

労働環境：「労働安全衛生」

組合運動：「組織拡大強化」「地域との共同」「青年への働きかけやとりくみ」

講座A 「NPT再検討会議参加報告」 報告者 愛知高

講座B 「公務員制度改革と教職員」 講師 全教生活権利局長 蟹澤昭三

全体会会場へのアクセス

JR中津川駅からシャトルバスでホテル『花更紗』を經由し、中津川市馬籠ふるさと学校へと向かいます（所要時間約30分）

中津川駅発シャトルバス（中津川観光案内所前発）

時刻表 9:55 10:55 11:55 13:55

レポートについて

レポート原稿（一部）を5月31日までに推進委員会へ提出してください。

全日本教職員組合 水落 まで

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館

電話番号 03-5211-0123

FAX 03-5211-0124

レポート作成について

- 1) レポートはA4縦型横書きで10P以内（資料は含みません）
- 2) 表紙には都道府県組織名と分科会・所属・氏名を明記してください。
- 3) 具体的な製本については、後日推進委員会より連絡いたしますので、職場や携帯電話等の連絡のつきやすい連絡先をお知らせください。